

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		中国四国農政局		中国電力		倉敷市		笠岡市		井原市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1)ハード対策の主な取組み																				
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																				
		・浸透対策 ・流下能力対策	実施状況	浸透対策、流下能力対策を実施中	～R2年度															
			今後の予定	浸透対策、流下能力対策を実施中	継続実施															
		・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を改善する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況	広域河川改修事業20河川、総合流域防災事業3河川をはじめ、単独事業においても堤防や拡幅等の整備を実施。 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施。 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施。	発災後から随時 (主には非出水期)															
			今後の予定	現在の取り組みを継続	継続実施															
■危機管理型ハード対策																				
		・天端の保護 ・堤防表尻の補強	実施状況	天端の保護 表尻の補強	継続実施		対策箇所を選定	R1年度												
			今後の予定	表尻の補強	継続実施		選定箇所において天端舗装を実施	～R3年度												
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
		・雨量・水位等の観測データ・ ダムの中継放送情報及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	公開用カメラの増設 事務所HP公開ライブカメラ数71箇所	継続実施		危機管理型水位計等の増設(78基) H30年度に48基、令和元年度に30基増設。(吉井川水系 22基、旭川水系 9基、高梁川水系 16基、その他 31基)	～R1年度												
			今後の予定	継続実施	継続実施		令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに公開する予定(R2.6)。	R2年度												
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況										○拡声塔からの放送が聞こえない自主防災組織に緊急告知FMラジオを貸与 ○岡山県防災情報メール配信サービスに登録するよう周知 ○防災FMラジオ等の配布 ○防災FMラジオの難聴地域に中継局設置事業を補助し、難聴地域を解消。	R1年度	同報系デジタル防災無線設置、笠岡市緊急情報配信サービス整備。 緊急告知FMラジオを自主防災組織等を中心に372台配布。	R1年度	MCA無線、IP無線について再検討	R1年度		
			今後の予定											○防災FMラジオ等の配布 ○倉敷市緊急情報提供無線システムの整備・機能強化	R2年度	同報系デジタル防災無線と他情報配信手段の一斉配信システム整備	R2年度	IP無線導入について、再検討	R2年度	
		・重要水防箇所の見直し	実施状況				令和元年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(破堤箇所及び一連区間、漏水箇所、陸岸等の追加) 令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸岸の適正化に伴う廃止等)	～R1年度												
			今後の予定				GISを活用した情報高度化	R2年度												
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	水防資機材等の確認、確保	H30年度		各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認した。	H29年度～					継続して実施中	R1年度	土のう袋、ブルーシート、スコップ、ロープ等を備蓄	R1年度	市内各小学校に土のう用真砂土を配備、消防団に土のう袋を配布、水防倉庫を移設。	H30年度～		
			今後の予定	資材の確認及び不足した資材の確保	継続実施		定期的に水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行う。	～R2年度						避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	R2年度	引き続き備蓄	継続実施	水防倉庫移設 水防資材の充実	R2年度	
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計の設置検計(3水系で32箇所)	H30年度		＜危機管理型水位計等の増設(78基)＞ H30年度に48基、令和元年度に30基増設。 ＜量水標＞ 水位計に合わせて設置。 ＜河川監視カメラ＞ 令和元年度に41基増設。 (吉井川水系 7基、旭川水系 11基、高梁川水系 12基、その他 11基)	～R1年度												
			今後の予定	-	-		＜水位計・カメラ＞ 令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに公開する予定(R2.6)。	R2年度												
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討、治水ダムの治水活用)	実施状況	ダム部会を設置	R1年度		操作規則等の点検を実施	～R1年度	ダム部会を設置	R1年度	ダム部会を設置	R1年度								
			今後の予定	令和2年5月29日治水協定を締結	～R2年度		操作規則等の変更		出水期まで治水協定を締結予定	～R2年度	出水期まで治水協定を締結予定	～R2年度								
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況				水門・樋門等無動力化を実施するため、新規事業を創設	R1年度												
			今後の予定				規模や重要性等を踏まえ、優先順位の高い施設から無動力化(フラップゲート化)を実施	R2年度～												
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況				先行事例の情報収集・研究に努める。	～R1年度												
			今後の予定				先行事例の情報収集・研究に努める。	R2年度～												
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況				過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進。 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施。	発災後から随時 (主には非出水期)										小田川沿い4箇所に排水ポンプ整備 移動式排水ポンプ2基購入	H29年度～	
			今後の予定				現在の取り組みを継続	継続実施											新規3箇所排水ポンプ設置予定、既設排水ポンプの増強1箇所	R2年度

(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)

項目	事項	内容	状況	総社市		高梁市		新見市		浅口市		早島町		里庄町		矢掛町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み																	
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																	
		・浸透対策 ・流下能力対策	実施状況														
			今後の予定														
		・堤防や孤棚等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況														
			今後の予定														
■危機管理型ハード対策																	
		・天端の保護 ・堤防表法尻の補強	実施状況														
			今後の予定														
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																	
		・雨量・水位等の観測データ・ダムの手前放水路等及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況														
			今後の予定														
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況	防災ラジオを配布	H29年度～	H29年度から貸与開始、R元年度全地域貸与	～R1年度			H24年度から貸与をはじめ、新設した自主防災組織に随時配布している。	H24年度	屋外スピーカーからの放送が聞こえにくい地域にスピーカーを増設	H30年度	導入方法の検討を実施	R1年度	導入完了(個別受信機2,000台・アプリ4,000ライセンス)	R1年度
			今後の予定	デジタル防災行政無線の整備	未定	R2年度まで貸与申請を受け付け。	～R2年度			R2年度以降も継続して貸与する予定		R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	整備予定	R2年度	継続実施(未受領者への配布ほか)	R2年度
		・重要水防箇所の見直し	実施状況														
			今後の予定														
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	救助ボート(船外機付)、ライフジャケット、保安帽、顔付長靴等配備済み	R1年度	不足資材購入	R1年度	資機材の確認・確保を実施	継続	実施済み	H28年度	避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	H30年度	随時実施	R1年度	随時実施	
			今後の予定	H30年7月豪雨で使用した資機材等○備蓄品の選定、保管場所の確保	R2年度	不足資材購入	R2年度	資機材の確認及び不足する資機材を確保	継続	R2年度以降も継続して実施予定 ○避難所の必要物資の見直し	～R2年度	R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	継続実施	継続実施	随時実施	
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況			河川監視カメラを8か所に配置	R1年度	HPで公開中	継続								
			今後の予定			4か所増設	R2年度	河川監視カメラの増設・更新	R2年度								
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討、利水ダムの治水活用)	実施状況														
			今後の予定														
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況														
			今後の予定														
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況														
			今後の予定														
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況			可搬式排水ポンプ2台導入	R1年度					町内全域の浸水被害の軽減を図るために、新たに樋門を整備	R1年度				
			今後の予定			-	-				R1年度整備完了	削除					

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		中国四国農政局		中国電力		倉敷市		笠岡市		井原市				
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期			
1)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災意識社会再構築ビジョンに基づく減災協議会資料を岡山山川事務所HPに公表	継続実施	関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を実施(R元年度出前講座等実施47回)	H29年度～						出前講座を74回実施(R1年度)	R1年度	出前講座174回実施(H29～令和元年度)	R1年度	出前講座18回開催(令和元年度)	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、出前講座等を活用し、防災知識の普及啓発活動を実施する	継続実施							水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	～R2年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	R2年度	
		・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	実施状況	マイタイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成	R1年度											住民一人ひとりの避難計画「マイタイムライン」勉強会を実施	R1年度					
			今後の予定	意識醸成につなげるため、講習会等を実施	継続実施											継続して実施予定						
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	教員向けの講習会、防災教育のモデル授業への支援を行った	R1年度	教育委員会等と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	小学1年生を対象に、防災知識について学べる「防災ワークシート」を作成し、県内小学校に配布した	R1年度							教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	R1年度	市内小中学生に防災ガイドブックを配布	R1年度	児童対象出前講座5回、教員対象の研修会開催(令和元年度)		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	新たに小学生(中学年・高学年)を対象に、防災知識について学べる「防災ワークシート」を作成する。	継続実施							継続して実施予定	R2年度	継続実施	継続実施	継続実施		
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	各自治体毎のマイタイムライン作成のためのヒント集を作成	R1年度																	
			今後の予定	継続実施	継続実施																	
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報発信の実施	H30年度	登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信(R2.3.1現在登録者数67,160人)	R1年度									スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信。出前講座等で登録制防災メールの普及啓発を実施。	R1年度	災害時に防災メール、緊急通報メール等プッシュ型の情報伝達を実施済。	R1年度	登録制メール、緊急通報メール実施済み	H29年度～	
			今後の予定	-	-											○情報発信の多様化	継続実施	一斉情報配信システムの整備	R2年度	登録制メールの普及啓発	R2年度	
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	公開用カメラの増設事務所HP公開ライブカメラ数71箇所	H29年度	危険管理型水位計等については、H30年度に48基、令和元年度に30基増設。河川監視カメラについては、令和元年度に41基増設。	～R1年度															
			今後の予定	継続実施	継続実施																	
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	公開用カメラの増設事務所HP公開ライブカメラ数71箇所	H29年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H29年度～	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った。	H30年度～							効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	H30年度	HPや広報誌、ポスター、チラシ等で災害情報の広報・周知を実施	R1年度	HPや広報誌による周知	H29年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「ももたろうの防災」の改訂などを行い、啓発資料を効果的に用いて、住民向け広報を強化する	R2年度							効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報を継続実施。	～R2年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	R2年度	
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況					地元小学生を対象に工事現場見学会等を実施	R1年度							防災講演会を実施。	R1年度	未実施	R1年度	河川氾濫を想定した地区避難訓練を実施	H29年度～	
今後の予定						継続的に実施	R2年度～							今後も継続的に実施予定。	継続実施	R2年度風水害特別防災訓練を笠岡市にて実施予定	R2年度	継続実施	R2年度			
2)ソフト対策の主な取り組み ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動																						
1)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等への連絡体制の再確認、水防団同士連絡体制の確保と伝達訓練の実施	実施状況	水防団等を対象に重要水防箇所の周知、合同の河川巡視を実施	R1年度										災害時の招集についてはメールを活用して実施							
			今後の予定	継続実施	～R2年度																	
		・水防団等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	実施状況	水防団等を対象に重要水防箇所の周知、合同の河川巡視を実施	H30年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が行う訓練を支援	H28年度～									水防団等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	継続実施					
			今後の予定	水防団等を対象に重要水防箇所の周知、合同の河川巡視を実施	～R2年度	未定	～R2年度									継続実施	R2年度					
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	未実施	H30年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が行う訓練を支援	H29年度～	関係機関の連携によるタイムラインに基づいた実働訓練を行う風水害特別防災訓練を実施した。	～R1年度							水防団等への連絡体制の再確認、水防団同士連絡体制の確保と伝達訓練の実施 関係機関が連携した実働水防訓練の実施	R1年度	年1回実施	R1年度	令和元年6月に市総合防災訓練、同年9月に地区避難訓練を実施	H29年度～	
			今後の予定	各自治体の訓練に積極的に参加	～R2年度	未定	～R2年度	毎年出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図る。	R2年度							水防団等への連絡体制の再確認、水防団同士連絡体制の確保と伝達訓練の実施 関係機関が連携した実働水防訓練の実施	R2年度	年1回実施	R2年度	継続実施	R2年度	
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況	岡山山川事務所HPに公表で水防団員を募集している旨の記事掲載	継続実施											水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進	R1年度				HP、ポスター掲示による募集、水防団協力事業所表示制度、消防団応援の促進を実施	H29年度～
			今後の予定	継続実施	継続実施											水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進	R2年度				継続実施	R2年度
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	未実施	R1年度			市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成を働きかけた	H29年度～							未実施	R1年度					
			今後の予定	情報伝達、機能確保のための対策の充実に向けて検討	継続実施			業務継続計画(BCP)の作成に加え、支援体制の整備を働きかける	継続実施							市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	R2年度					
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	災害発生時における応急対策活動の担当区域等を設定し相互協力ができる体制構築を依頼	H30年度											実施済み	H30年度	建設業協会と協定を締結済	R1年度	建設業協会と協定締結済み	H29年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施											実施済み	-	-	-	継続実施	R2年度	
		2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水計画																				
		1)	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	排水計画(案)を作成	R1年度		H30.7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い一部の施設で操作規則が作成された。	～R1年度						未実施	R1年度				出水期前に水門・排水ポンプの試運転、移動式排水ポンプの試運転	H29年度～
					今後の予定	作成した排水計画(案)を市町村に共有	R2年度			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める。	継続実施						未定	R2年度				継続実施

項目	事項	内容	状況	総社市		高梁市		新見市		浅口市		早島町		里庄町		矢掛町		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	自主防災組織リーダー研修会を実施 7月豪雨災害を教訓に、防災意識の普及啓発活動を実施	H30年度				出前講座を実施	継続	○出前講座を実施済み 岡山地方気象台と連携したマイタイムライン作成研修を実施済み ○職員を対象に、岡山地方気象台による気象防災ワークショップを県内で初めて実施した。	R1年度	出前講座を実施済み	H29年度	1回実施	R1年度	令和元年度12回実施 地元住民だけでなくケアマネ連絡会議でも実施。	R1年度	
		今後の予定	水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	～R2年度				継続実施	継続実施	R2年度以降も継続実施予定 水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催 ○自主防災組織の出前講座を通じた避難情報の周知 ○出前講座等を通じた防災教育の充実と避難情報の普及、防災リーダ育成 避難行動に設けるため、地区の特性に応じたマイタイムライン作成図上訓練等の実施	～R2年度	R2年度以降も継続して出前講座を実施予定 ○出前講座等を通じた防災知識の普及	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R2年度
	・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	実施状況																
		今後の予定																
	・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	未実施	R1年度							未実施		小学生を対象とした防災教育(出前講座)を実施済み	H29年度	2回実施	R1年度	マイ・タイムライン出前授業(小学校5、6年生対象 中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所が実施)	R1年度
		今後の予定	教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	R2年度							教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	～R2年度	R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	継続実施	継続実施	未定	未定
	・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況																
		今後の予定																
	・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	継続実施	継続実施							登録型防災メールの普及啓発	継続実施	スマートフォンアプリ、防災メール、緊急連絡メール等を活用し、プッシュ型で情報伝達	H30年度	エリアメール及び登録制メール等で情報発信している。	R1年度	実施済	R1年度
		今後の予定	○情報発信の多様化	継続実施							継続実施		R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	スマートフォンアプリの導入を検討	R2	継続実施	R2年度
	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況			河川監視カメラを8か所に配置、CATVで放送・市HPで画像配信	R1年度		HPで公開中	継続									
		今後の予定			4か所増設	R2年度		河川監視カメラの増設・更新	R2年度									
	・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	H30年度	広報紙5月号及び8月号に毎年、防災関係情報を掲載。その他の月も、随時掲載。市HPに防災情報を随時掲載。	～R1年度		広報誌やHPによる災害情報の広報・周知を実施	継続	・広報紙へ災害に関する情報の掲載、ハザードマップの公表・ハザードマップの更新・配付	R1年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H30年度	総合的な防災に関する情報を掲載した防災ハンドブックを作成し、町内各戸に配布した。	R1年度	未実施	未実施	R1年度
		今後の予定	効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	未定	未定	未定	未定	未定	R2年度
	・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況	実施済み	R1年度	大規模水害対策訓練の実施	R1年度		市総合防災訓練を実施	R1年度～	未実施			早島町総合防災訓練において、風水害を想定とした防災訓練を実施した。 R1年度においては、大規模地震を想定した防災訓練を実施している。 R2年度以降の実施について検討を行う	H30年度	未実施	R1年度	未実施	未実施
今後の予定		防災訓練の実施	R2年度	大規模水害対策訓練の実施 平成30年7月豪雨災害記録誌の作成	R2年度		継続実施	継続実施					未定	未定	未定	未定	未定	R2年度
2)ソフト対策の主な取り組み ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動																		
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																		
・水防団等への連絡体制の再確認、水防団同士の連絡体制の確保と伝達訓練の実施	実施状況																	
	今後の予定																	
・水防団等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	実施状況	継続実施	継続実施							検討実施								
	今後の予定	水防団等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	R2年度							未定	検討							
・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	未実施 (隔年で計画実施)	R1年度	毎年6月頃に水防訓練を実施	～R1年度		市総合防災訓練を実施	R1年度～	未実施			土のう作成体験訓練を自衛隊の協力のもと実施	R1年度	未実施	R1年度	未実施	未実施	R1年度
	今後の予定	水防団等への連絡体制の再確認、水防団同士の連絡体制の確保と伝達訓練の実施 関係機関が連携した実働水防訓練の実施	R2年度	毎年6月頃に水防訓練を実施	R2年度～		継続実施	継続実施	国土交通省の災害対応車両(排水・照明)等の支援を受け、関係機関が連携した実働水防訓練の実施を検討	～R2年度	R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	実施を検討していく	R2	未定	未定	R2年度	
・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	実施状況		R1年度				広報誌等で募集	R1年度～			H29年度	水防活動の担い手となる消防団員の募集を広報誌等に掲載	H30年度	未実施	R1年度	未実施	未実施	R1年度
	今後の予定	水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進	R2年度				継続実施	継続実施	水防活動の担い手となる消防団員の募集を広報誌や協力事業所と連携し実施予定	継続実施	R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	未定	未定	未定	未定	未定	R2年度
・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	未実施	H30年度				非常用発電の整備・浸水対策済	R1年度		市役所本庁舎に非常用発電設備を整備するよう設計	R年度	庁舎非常用発電機の燃料タンクの増設に伴う停電対策の強化	R1年度	庁舎非常用発電機の維持	R1年度			
	今後の予定	庁舎建て替え計画と平行して協議をしていく予定	～R2年度				—	—	非常用発電機の整備に向けた施工	～R2年度	R1年度整備完了	削除	継続実施	継続実施	継続実施			
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	実施済み	H30年度				建設業協会と協定を締結済	継続	実施済み		H29年度	地元建設業者等と災害協定を締結済	H29年度	浅口西部建設協力会と協定を締結済	R1年度	実施済	未実施	R1年度
	今後の予定	時期未定	～R2年度				—	—	継続実施予定	継続実施		R2年度以降も継続して実施予定	継続実施	—	—	継続実施	未実施	R2年度
2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水計画																		
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施																		
・排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	未実施	R1年度															
	今後の予定	未定	～R2年度							未定	～R2年度	未定		～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	R2年度